

「自転車走行指導帯」社会実験－ヒアリング調査結果－

1. ヒアリング調査の概要

◆調査日時

- ①星稜高校……平成 19 年 7 月 11 日（水）、15:20～16:00
- ②金沢桜丘高校…平成 19 年 7 月 13 日（金）、12:20～12:50
- ③ほくてつバス…平成 19 年 8 月 6 日（月）、10:15～10:45

◆調査対象者

- ①星稜高校……7 名（男子 6 名、女子 1 名、すべて 1 年生）
- ②金沢桜丘高校…6 名（男子 1 名、女子 5 名、3 年生 5 人＋1 年生 1 人）
- ③ほくてつバス…2 名（男性乗務員）

2. 高校生へのヒアリング結果

（1）危険な箇所について

※別紙「ヒアリング結果総括（危険な箇所等について）」参照。

（2）自転車の安全性や走行性の変化等について

項目	設問	回答
①自転車走行指導帯・看板について	◇「自転車走行指導帯」を設置することで、走りやすくなりましたか？	◇「走りやすくなった」との回答が星稜で 7/7（100%）、桜丘で 6/6（100%）、合計 13/13（100%）。
	◇「自転車走行指導帯」を設置することで、安全になりましたか？	◇「安全になった」との回答が星稜で 6/7（86%）、桜丘で 5/6（83%）、合計 11/13（85%）。 ◇一方、「クルマが怖い」「夕方はバスレーンではないのでクルマが指導帯の上を走行しており走れない」「朝はバスが多くて怖い」との意見あり。
	◇「自転車走行指導帯」の幅についてどのように感じますか？	◇「ちょうどよい」との回答が星稜で 7/7（100%）、桜丘で 6/6（100%）、合計 13/13（100%）。
	◇「自転車走行指導帯」の色や見やすさについてどのように感じますか？	◇「見やすい」との回答が星稜で 1/7（14%）、桜丘で 4/6（67%）、合計 5/13（38%）。 ◇「夕方や夜は見にくい」との意見あり。
	◇電柱に設置した看板の大きさや見やすさ、効果についてどう思いますか？	◇「看板を見たことがある」との回答は星稜で 2/7（29%）、桜丘で 3/6（50%）、合計 5/13（38%）。 ◇「路面標示の方がわかりやすい」との意見あり。
②交通ルールに対する意識の変化について	◇社会実験対象区間について、自転車走行ルール（車道左端を走行するルール）を守るようになりましたか？（朝の通学時間帯、夕方の帰宅時間帯）	◇朝夕ともに「守るようになった」との回答が星稜で 7/7（100%）、桜丘で 6/6（100%）、合計 13/13（100%）。
	◇他の道路区間（対象区間以外）について、交通ルールを守る（意識する）ようになりましたか？	◇「守るようになった」との回答が星稜で 5/7（71%）、桜丘で 1/6（17%）、合計 6/13（46%）。

項目	設問	回答
② 交通ルールに対する意識の変化について	◇今回の社会実験をきっかけに、普段から「自転車は車道左端を走行する」という交通ルールを意識するようになりましたか？	◇「意識するようになった」との回答が星稜で 6/7 (86%)、桜丘で 6/6 (100%)、合計 13/13 (100%)。
③ 社会実験のPR方法について	◇社会実験について、どのような方法で知りましたか？	◇「学校での指導」との回答が星稜で 6/7 (86%)、桜丘で 5/6 (83%)、合計 11/13 (85%)。 ◇「親から聞いた」との回答が 2/13 (15%) 存在。 ◇「バス後部への広告掲載」を認知していた人は 1/13 (8%)。
④ 今後の方向性について	◇今後、この対策を続けるべきだと思いますか？	◇「続けるべき」との回答が星稜で 7/7 (100%)、桜丘で 5/6 (83%)、合計 12/13 (92%)。 ◇その他、「他の区間に広げてほしい」との意見あり。

(3) 高校生ヒアリングのまとめ

- ◆全体的には「走りやすくなった」「安全になった」という高校生が多い。
- ◆指導帯の幅については全員が「ちょうどよい」と回答。
- ◆指導帯の見やすさについては、「夕方や夜の視認性」に課題あり。
- ◆電柱に設置した看板は、過半数の高校生が気づいていない（あまり意識していない）。
- ◆今回の対策を契機として、ほとんどの高校生が朝夕ともにルールを守るようになった。
- ◆危険な箇所については、13人中5人が東山交差点の左折車が多い区間を挙げている。
- ◆「路上駐車」を迷惑に感じている生徒が多い（コンビニ前や花屋前など）。
- ◆指導帯を逆走する自転車を危険に感じている生徒が存在。
- ◆PR方法については、「学校での指導」が最も効果的であり、チラシや各種メディア等についてはあまり知られていない。
- ◆ほとんどの高校生が、対策を「今後も続けてほしい」と回答。他の区間への拡張を望む高校生も存在。

3. バス運転手へのヒアリング結果

(1) 危険な箇所について

※別紙「ヒアリング結果総括（危険な箇所等について）」参照。

(2) バス運転時の安全性や走行性の変化等について

項目	設問	回答
① バスの運転について	◇対象区間を走行したことはありますか？	◇ほぼ毎日走行している。
	◇自転車が前方を走行している場合、どのように対応していますか？	◇自転車が転倒した場合等に備え、右側車線に入って追い越している。 ◇右側車線にクルマが並んでいる場合、自転車の後ろを走行せざるを得ない。
	◇前方に自転車が走行していると、ストレスを感じますか？	◇ストレスを感じる。
	◇自転車走行に対して、どのような配慮を行っていますか？	◇安全第一を心がけて走行している。
	◇バスを運転していて危険に感じることはありますか？	◇細い路地から急に飛び出してくる自転車・一般車が怖い。
② 自転車走行指導帯・看板について	◇社会実験前と現在を比較して、どちらが走りやすいですか？	◇自転車が前にいるとやや走りにくい。
	◇社会実験前と現在を比較して、どちらが安全ですか？	◇ルールを守る人が増えたので安全になっていると思う。実験前は車道逆走の自転車がなくて危険だったが、現在は改善されたと思う。
	◇「自転車走行指導帯」はあった方が良いと思いますか？	◇ドライバーとしては無い方が走りやすいが、交通安全対策としてはあった方が良い。 ◇バスやクルマを運転していると、どうしても速く走りたくするため、自転車との共存にはストレスを感じるが、対象区間については交通安全対策上必要と割り切って走行している。
	◇「自転車走行指導帯」の幅についてどう思いますか？	◇今の幅（1.25m）に抑えてもらえれば幸いである。ちょうど良い。
③ 交通ルールに対する意識の変化について	◇社会実験前と現在を比較して、自転車は「車道左端を走行」するルールを守るようになったと思いますか？	◇守るようになったと思う。高校生だけではなく、一般の方々もルールを守って走行している人が多く感じられる。 ◇しかし、車道を逆走してくる高校生もまだ存在している。また、信号無視をする自転車も多い。
	◇他の道路区間（対象区間以外）において、自転車利用者の交通ルールに対する意識は高まったと思いますか？	◇特に変わっていないと思う。
	◇社会実験をきっかけとして、交通ルールに対する認識や、ゆずりあい・思いやりの意識は高まりましたか？	◇ストレスは溜まるが、交通ルールに対する意識も高まっている。

項目	設問	回答
④ 社会実験のPR方法について	◇社会実験について様々なPR方法を使ってお知らせしてきましたが、どのようなPRをしてきたかご存知ですか？また、どの方法が効果的だと思いますか？	◇信号の上に設置された電光掲示板（赤信号の際に流れるテロップ）を活用すればよいのではないかと。 ◇学校での指導や街頭指導の実施はとても効果的であると考えられる。
⑤ 今後の方向性について	◇自転車利用者に対して要望はありますか？	◇しっかりとルールを守ってほしい。みんながそれぞれのルールを守るべき。 ◇特に、メールをしながら自転車を運転するのは危険である。また、バス停車時には「自転車はバスの後ろで一時停止」というルールを守ってほしい。バス停車時に自転車が歩道を走ると乗降客との接触の危険がある。
	◇本格実施となった場合、何か問題はありますか？	◇交通安全対策の効果が出ているので、特に大きな問題はないと思うし、今さら元の状態に戻すことはできないと思う。 ◇しかし、冬期積雪時には、自転車が指導帯をはみ出して走行することが想定されるので、左側1車線は自転車のために使われるものとして考えるしかない。
	◇金沢市内で、同様な対策を実施した方が良いと思われる区間はありますか？	◇他の区間に広げるのは難しいと思う。野町～有松区間も歩道が狭く自転車が多くの区間であるが、自動車交通量が多いので、指導帯の導入は困難であると思う。

(3) バス運転手ヒアリングのまとめ

- ◆バス運転手は、自転車が前方を走行することについてストレスを感じているものの、自転車走行指導帯の設置等による今回の交通安全対策には肯定的である（対策前の無秩序な状態よりは、対策後の方が安全に感じている）。
- ◆自転車走行指導帯の幅については、現在の1.25mが限度である。視認性は問題ない。
- ◆一般ドライバー等への周知方法として、信号の上に設置された電光掲示板を活用すべき。
- ◆本格実施に際しては、冬期積雪時の対応を検討しておくべき。
- ◆自転車走行指導帯を他の区間に拡大することは難しい。

■「自転車走行指導帯」社会実験 –ヒアリング結果総括(危険な箇所等について)–

【調査概要】

■ヒアリング調査実施日時

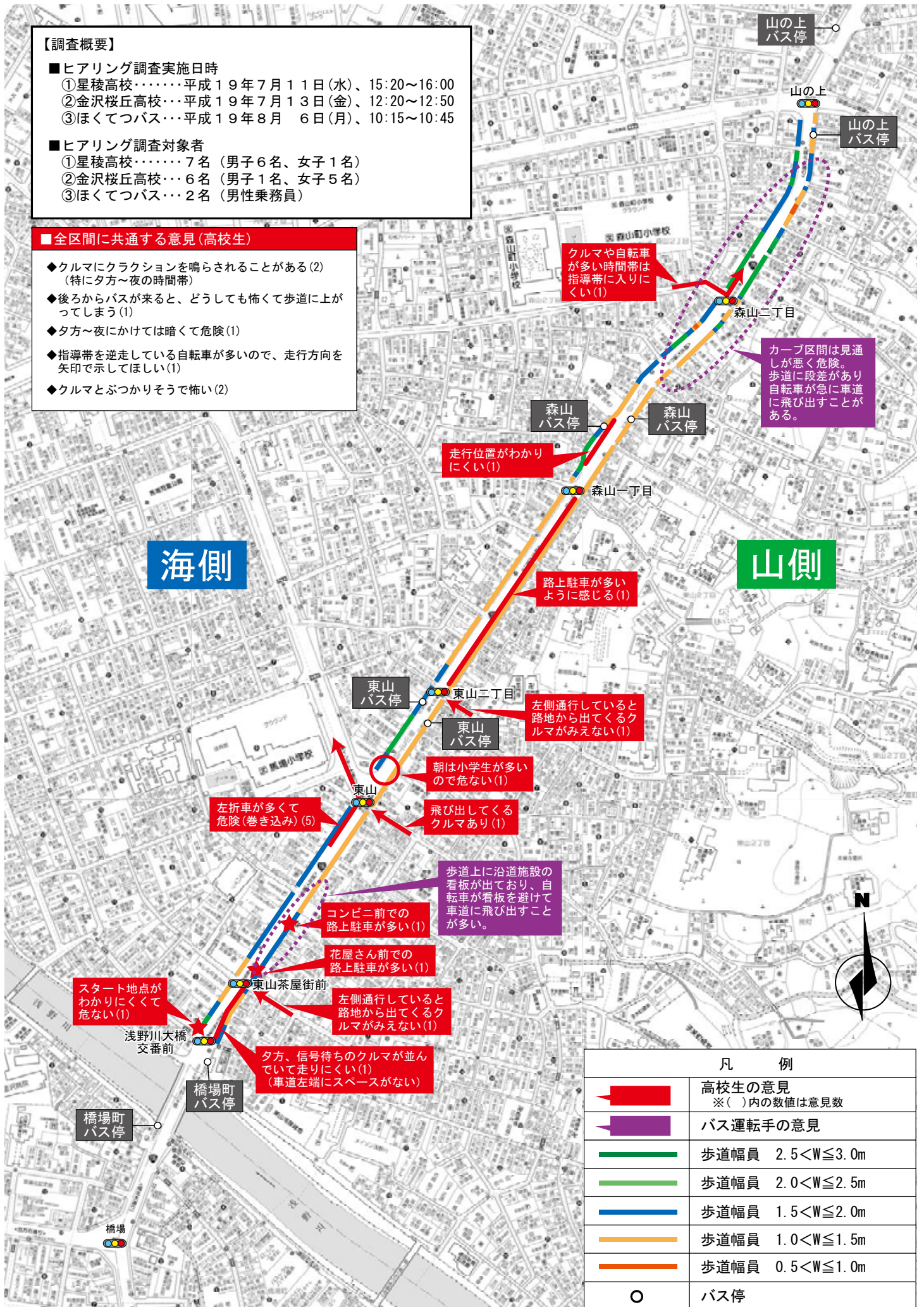
- ①星稜高校……平成19年7月11日(水)、15:20~16:00
- ②金沢桜丘高校…平成19年7月13日(金)、12:20~12:50
- ③ほくてつバス…平成19年8月6日(月)、10:15~10:45

■ヒアリング調査対象者

- ①星稜高校……7名(男子6名、女子1名)
- ②金沢桜丘高校…6名(男子1名、女子5名)
- ③ほくてつバス…2名(男性乗務員)

■全区間に共通する意見(高校生)

- ◆クルマにクラクションを鳴らされることがある(2)
(特に夕方~夜の時間帯)
- ◆後ろからバスが来ると、どうしても怖くて歩道に上がってしまう(1)
- ◆夕方~夜にかけては暗くて危険(1)
- ◆指導帯を逆走している自転車が多いので、走行方向を矢印で示してほしい(1)
- ◆クルマとぶつかりそうで怖い(2)



海側

山側



凡 例	
	高校生の意見 ※()内の数値は意見数
	バス運転手の意見
	歩道幅員 2.5<W≤3.0m
	歩道幅員 2.0<W≤2.5m
	歩道幅員 1.5<W≤2.0m
	歩道幅員 1.0<W≤1.5m
	歩道幅員 0.5<W≤1.0m
	バス停